

令和7年度 包括的な支援体制の構築・整備に向けたモデル事業 実績報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、以下に事業の概要を分かりやすく、簡潔に記入してください。

社協名	小田原市 社会福祉協議会
対象となる実践・テーマ ※いずれか1つに○をつける	○ (1)行政および地域の関係機関・団体、担い手との協働による包括的支援体制構築の促進
	(2)個別支援と地域支援の一体的推進、および「相談支援」「参加支援」「地域づくり」を意識した具体的実践の促進
	(3)その他、包括的支援体制の構築に関わる取り組み
事業名	社協さんちの井戸端会議～これからも！地域づくりはみんなが参加～

事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕

※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入して下さい。

※各市町村社協ホームページ等にて本事業の掲載等を行う場合は、URL を記載して下さい。

本事業は、「井戸端会議」という事業名の通り、参加者がリラックスした雰囲気の中で本音で語り合えるよう、時間内入退場自由な展示会形式で開催いたしました。堅苦しい会議形式ではなく、自然な交流の中で課題提起や解決策の共有、優れた取り組みの吸収ができる場を目指しました。会場内では、個人や団体（住民、社会福祉法人等）による実践報告や活動発表を行うほか、市内障がい福祉事業所等による製品販売ブースを設け、多角的な交流を促進しました。

その結果、来場者数は過去最多となる270名に上り、子どもや専門学生、高校生、大学生の参加もみられるなど、狙いとしていた多世代交流を図ることができました。また、地元高校に声をかけ、イベントボランティアとして10名の生徒に開催準備から当日の運営までご参画いただきました。イベント内の実践報告では、障害者就業・生活支援センターから障害のある方の就労や活動、自主製品についてご紹介いただき、活動発表では、普段集いの場などで披露している楽器演奏やレクリエーションなどを発表していただきました。展示ブースにおいても、参加者と出展者が自由に交流し、活発な意見交換や情報交換が行われました。

今回のイベント開催を通じて、普段様々な活動をしている地域住民や福祉に携わる専門職、地域活動に興味をもつ一般の方が集い、一体感のある会場内で過ごしていただくことの意義を再確認しました。このような場は、活動に対するモチベーションが向上したり、普段の活動の意義を再確認したり、新しい活動・課題へ挑戦しようとする意欲が生まれやすくなる機会として非常に重要です。今後も、地域福祉活動の関係人口をさらに増やし、地域福祉分野の普及啓発を図りながら、活動の意欲や関心を喚起していくような機会提供を丁寧に行ってまいります。

